

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	石狩湾新港における港湾利用の効率性・安全性の向上（防災・安全）											
計画の期間	平成27年度～平成31年度（5年間）										重点配分対象の該当	
交付対象	石狩湾新港管理組合											
計画の目標	既存施設の機能回復、臨港道路の整備・改良を行い、港湾利用の効率性・安全性の向上を図る。											
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	788	A	788	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0 %

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H27当初)	中間目標値 (H29末)	最終目標値 (H31末)
1	埋没により船舶の安全航行に支障をきたしている泊地1.3haの機能回復・安全性の向上を図る。 埋没により船舶の安全航行に支障を来し、機能回復・安全の向上に必要な必要な泊地の支障箇所を解消した面積が全体に占める割合を算出する。 (泊地の支障箇所の解消率) = (浚渫実施泊地面積(1.3ha)) / (浚渫されていない面積(1.3ha))	0%	92%	100%
2	老朽化による舗装の劣化、摩耗及び沈下により安全性が低下している臨港道路200mの安全性・効率性の向上を図る。 老朽化による舗装の劣化、摩耗及び沈下により安全性が低下している臨港道路の危険路線を解消した延長が全体に占める割合を算出する。 (道路の危険路線の解消率) = (改良実施延長(200m)) / (改良されていない延長(200m))	0%	100%	100%
3	臨港道路715mの整備により、港湾利用者の効率性・安全性の向上を図る。 車両の効率的で安全な通行の確保により、移動時間の短縮率を算出する。 (移動時間の短縮率) = (整備前の移動時間 - 整備後の移動時間) / 目標とする短縮移動時間3分)	0%	0%	100%
4	老朽化による舗装の劣化や摩耗により安全性が低下している臨港道路935mの安全性・効率性の向上を図る。 老朽化による舗装の劣化、摩耗により安全性が低下している臨港道路の危険路線を解消した延長が全体に占める割合を算出する。 (道路の危険路線の解消率) = (改良実施延長(935m)) / (改良されていない延長(935m))	0%	50%	100%
5	利用に支障が生じている保安設備を更新し、保安措置の向上を図る。 利用に支障が生じ、更新が必要な保安設備の支障箇所を解消した施設が全体に占める割合を算出する。 (保安設備の支障箇所の解消率) = (改良実施保安設備数(5基)) / (改良が必要な保安設備数(5基))	0%	100%	100%
6	臨港道路890mの整備により、港湾利用者の効率性・安全性の向上を図る。 臨港道路を整備した施設延長が全体に占める割合を算出する。 (整備率) = (整備実施済み延長890m) / (整備が必要な延長890m)	0%	20%	100%

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容(延長・面積等)	市区町村名/港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	費用便益比	個別施設計画策定状況
												H27	H28	H29	H30	H31			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
港湾事業	A02-001	港湾	北海道	石狩湾新港管理組合	直接	石狩湾新港管理組合	重要	改良	泊地(-10m)(埋没浚渫)	A=5,500m ² V=6,400m ³	石狩湾新港・東地区						84	策定済	
		継続																	
	A02-002	港湾	北海道	石狩湾新港管理組合	直接	石狩湾新港管理組合	重要	改良	泊地(-3m)埋没浚渫	A=7,800m ² V=8,100m ³	石狩湾新港・東地区							105	策定済
		継続																	
	A02-003	港湾	北海道	石狩湾新港管理組合	直接	石狩湾新港管理組合	重要	改良	道路の改良(路盤改良)	幅員W=6.5m×2 延長L=200m	石狩湾新港・東地区							44	策定済
		継続																	
	A02-004	港湾	北海道	石狩湾新港管理組合	直接	石狩湾新港管理組合	重要	建設	道路整備	幅員W=6.5m 延長L=715m	石狩湾新港・東地区							200	-
		継続																	
	A02-005	港湾	北海道	石狩湾新港管理組合	直接	石狩湾新港管理組合	重要	改良	道路の改良(オーバーレイ)	幅員W=6.5m×2、延長L=935m	石狩湾新港・花畔地区							35	策定済
		継続																	

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H27	H28	H29	H30	H31			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
港湾事業	A02-006	港湾	北海道	石狩湾新港管理組合	直接	石狩湾新港管理組合	重要	改良	保安設備の改良	監視カメラシステム5基	石狩湾新港・西・花畔地区						10	-	
		継続																	
	A02-007	港湾	北海道	石狩湾新港管理組合	直接	石狩湾新港管理組合	重要	建設	道路整備	幅員 W=7.0m、延長 L=890m	石狩湾新港 西地区						250	-	
		継続																	
	A02-008	港湾	北海道	石狩湾新港管理組合	直接	石狩湾新港管理組合	重要	改良	護岸・岸壁の補修	護岸補修1施設・岸壁補修1施設	石狩湾新港・東・樽川地区						60	策定中	
		新規																	
											小計						788		
											合計						788		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 石狩湾新港管理組合において実施	事後評価の実施時期 事業終了後、令和2年4月
	公表の方法 石狩湾新港管理組合ホームページ
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・埋没により船舶の安全航行に支障を来していた泊地の浚渫により、安全で円滑な船舶の航行が実現された。 ・老朽化による舗装の劣化、摩耗及び沈下により安全性が低下していた臨港道路の改良により、安全で円滑な港湾車両の通行が実現された。 ・東地区臨港道路715mの整備は未着手。 ・花畔地区臨港道路935mの改良は未着手。 ・利用に支障が生じていた保安設備の更新により、適切な保安措置が図られた。 ・西地区臨港道路は890mのうち165m整備済み。 ・老朽化に伴い安全性が低下していた2施設のうち、1施設（護岸）の機能が回復し延命化が図られた。（岸壁は未実施。）
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	浚渫により機能回復・安全性の向上が図られた泊地	
	最終目標値	100%
	最終実績値	100%
2	改良により安全性・効率性の向上が図られた臨港道路	
	最終目標値	100%
	最終実績値	100%
3	整備により安全性・効率性の向上が図られた臨港道路	
	最終目標値	100%
	最終実績値	0%
4	改良により安全性・効率性の向上が図られた臨港道路	
	最終目標値	100%
	最終実績値	0%
5	更新により保安措置の向上が図られた保安設備	
	最終目標値	100%
	最終実績値	100%

(参考様式3)

社会資本総合整備計画（防災・安全交付金）

